

令和7年度 学校法人渋谷教育学園 晴海西こども園 外部評価報告書

評価委員 : 渋谷教育学園晴海西こども園 学校評議員 (5名)

報告書作成者: 渋谷教育学園晴海西こども園 事務長 山本

評価時期 : 令和8年3月

1 重点目標の評価

(1) 好きな遊びに熱中し、自分らしさを素直に表現できる「元気に遊べる子」を育むについて

都会の真ん中という環境にありながら、1階から3階にわたる広い園庭や遊具を存分に使って伸び伸びと遊び、園庭の植栽に植えられた樹木や葉っぱに生息する生き物の観察など自然にも触れる機会を提供している。また、散歩を兼ねて近隣の公園に出かけ、植物や生き物の観察を行うなど、園外でも肌で自然を感じる体験を行っている。令和7年度は、お米やトマト、ナス、小松菜、ジャガイモ、大根などの栽培にチャレンジし、収穫した食材でピザをつくるなど、栽培・収穫・調理を園児自らの力で成し遂げた。これらは目的をもって計画的に進められ、園児の心を動かし、豊かな体験を通じて成長を喜ぶ経験に繋がっており、保護者アンケートでも高評価を得ている。

(2) 自ら考えて行動し、最後までやり抜く努力をする「根気よくやりぬく子」を育むについて

個々の園児が自分のやりたいこと、得意なことを伸ばす活動を行い、「できた」という達成感や「みてほしい」という行動につなげている。特に、運動あそびのつどいでは、年長組全員による組体操で「一本橋」を成功させ、この体験を通して一層の逞しさが感じられるようになった。また、表現あそびのつどいでは、その子なりの表現を工夫しながら友達と一緒に劇や楽奏をやり遂げ、それぞれの大きな自信となっている。

(3) 自ら興味・関心をもったことを調べて知識を高め、好奇心や想像力のある「読書好きな子」を育むについて

園の蔵書は令和7年度末で1,000冊を超えて順調に増加しており、園児は保育室や図書コーナーを活用して好きな本を自由に選んで読んでいる。読書を通じて本の世界に入り込み、2月の表現あそびのつどいでは、本から得たひらめきや着想を想像(創造)しながら題目や内容を園児が自発的に決めていった。保護者後援会による読み聞かせ会も複数回行われ、職員と保護者が一体となって本の大切さ、読書のおもしろさを伝える活動を展開している。

(4) 優しく思いやりがあり、場や人に親しみを持つ「素直で思いやりのある子」を育むについて

園庭では年齢に関係なく園児同士で遊ぶ姿が見られるほか、年長組が年下の園児たちを誘って制作物の見学会を催すなど、異年齢教育にも積極的に取り組んでいる。晴海西小学校の1年生や近隣保育園児との交流・体験活動は、地域の場や人に親しみを持つきっかけとなっている。すくわくプログラムでは、2階園庭にビオトープをつくりメダカの産卵・生長を喜んでいる。飼育栽培や自然観察会などを通して園庭の生き物が増え、自然の不思議さや命の大切さについても考える機会を提供している。

## 2 今後の改善に向けた意見

重点目標やその他の教育保育に関する保護者アンケートの結果は高く評価されており、教育保育活動の取組姿勢や成果は十分なものと感じる。また、預かり保育や延長保育についても、週1回の保護者のリフレッシュ預かりを行うなど、弾力的な運営がなされ一定の評価を得ている。今後も家庭との役割分担など園の教育方針を丁寧に保護者に伝えとともに、率直に話し合いを重ねさらに工夫していくことや、地域の子育て相談も充実化させるなど引き続きお願いしたい。

## 3 その他意見

まもなく開園から2年が経過するが、地域や他園との交流などをさらに活発に行い、地域に密着し愛される園となるよう、さらなる取り組みに期待したい。令和8年度は8月に月島地域を中心とした祭礼が予定されている。こども神輿も出るので園児や保護者に参加・体験していただくなど、地域、町会としても積極的に応援していくので、遠慮なく意見等を申し出てください。

以上